予告版　　NPO法人日本障害者協議会（JD）2020年度第１回連続講座のあらまし

※お申込者には、予め詳細なレジュメを送信します。

**国際障害者年から40年―障害者施策と運動の歩みを検証する**

**目の当たりにした出来事、たくさんの学び、そして向かうべき方向は**

**【講演】**　**藤井 克徳　NPO法人日本障害者協議会(JD) 代表**

日時：2021年１月23日（土）13:00～15:00　　＊オンライン

はじめに

・昨今の関連する動きで気になること

・講座のキーセンテンス（グラデーション中の節目、政策と運動は恋人）

Ⅰ　いま一度国際障害者年の本質を―障害分野の「黒船」

Ⅱ　国際障害者年以前はどうなっていたのか（1945年～1980年）

１．まだまだ散発的、でも萌芽は着実に

1) 社会の動き

2) 障害関連政策の動き

3) 障害団体の動き

２．押さえるべきポイント

Ⅲ　国際障害者年以降の40年間・・４期に区分して子細に検証

１．第一期（1981年～1990年）

1) 障害分野の出来事（主要なものに絞って。第二期以降も同じ）

2) 社会の出来事

3) 押さえるべきポイント

２．第二期（1991年～2000年）

1) 障害分野の出来事

2) 社会の出来事

3) 押さえるべきポイント

３．第三期（2001年～2010年）

1) 障害分野の出来事

2) 社会の出来事

3) 押さえるべきポイント

４．第四期（2011年～2020年）

1) 障害分野の出来事

2) 社会の出来事

3) 押さえるべきポイント

Ⅳ　40年間を通して感じること

１．グラデーションと節目

２．積み残したままの重大な課題

３．運動の大切さ、民間団体が果たした役割

Ⅴ　障害関連政策の近未来

１．基本的な考え方（障害者権利条約に立脚して）

２．基幹政策の拡充（5点にわたって）

Ⅵ　みんなで取り組むこと、一人ひとりに問われること

１．社会政策全体との連携（平和、人権、環境保全など）

２．障害者権利条約を日本社会の隅々に

３．民間活動（運動）に想像と創造、新たな節目の設定

４．一人ひとりに問われること（誰にでもできること）

Ⅶ　むすび

※講座当日は、貴重な写真などを紹介します。乞うご期待！